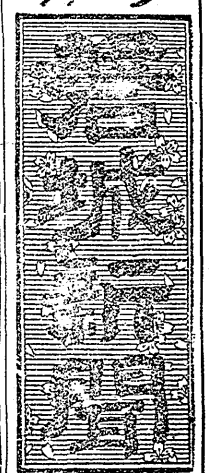
〔第五種郵便物認可〕　昭和九年十一月十日　第三種郵便物認可

# 夕刊

十一月十日號行

（日曜祭日翌日休刊）

定價（一ヶ月金六拾銭　一ヶ年金六圓）
廣告料金（一回一行金拾銭　一ヶ月金五圓）
發行所　磐城新聞社
福島縣磐城郡平町大字平字本町十五番地
電話（一）番
振替口座仙臺一〇〇番



磐城新聞　〔日曜日〕　昭和九年十一月十日　第四千百七十五號　〔一〕

## 臺灣に於ける十萬町歩の森林

### それに附帶する事業

### 附　米國人の協力

星製藥株式會社社長　星　一

三

九、當社は大正五年よりキニーネ製造の研究に着手し、大正六年に瓜哇のキナ栽培者と五ヶ年間に三百萬キロ（三千噸）のキナ皮輸入の契約をし、本格的にキニーネの製造に從事し、製品は歐羅巴のそれに優るとも劣らず、內地の需要を充たし進んで歐米に輸出をなし五ヶ年間のキナ皮輸入は三千六百噸にして、契約を超過すること六百噸であつたでに伸び、今日に於ては我が日本はアルカロイドの製造國たらしむることを目標として創立されたる會社である。アルカロイドは日本內地でも出來るので當然當會社の義務であるので當社は早くより內地及び臺灣に於て藥草栽培に着手し、大正六年には南米秘露のコカ栽培地をも買收したのである

アルカロイド原料の或物は日本內地でも出來るので眠むたがる子役などめて村芝居　枯　萍　舞台から呼び出しもやる村芝居

△聯合軍對獨休戰條約調印（大正七）△澁澤榮一氏逝く享年九十二（昭和六）△陸軍特別大演習は奈良縣下で開始（同七）△イタリー、ムッソリニ首相下院を廢止す（同八）

十一日

△平氏三井寺を燒く（治承二）△大禮服を制定す（明治五）△我軍孟家屯に於て交戰（昭和六）△皇太子殿下の御褒儀鹽島岡葬場にて執り行はせらる△ドイツ國民投票及び國會議員總選擧行はる（同八）

十一月十日　日曜　新暦　十丁亥
十一月十一日　月曜　先勝　十二建
十一月十二日　月曜　新暦　十丁亥
十一月十三日　火曜　友引　十二閉
十一月十四日　水曜　新暦　十丙戌
十一月十五日　木曜　友引　十二閉
十一月十六日　金曜　新暦　十丙戌
十一月十七日　土曜　先負　十二建
十一月十八日　日曜　新暦　十丁亥
十一月十九日　月曜　先負　十二建
十一月二十日　火曜　新暦　十丁亥
十一月二十一日　水曜　新暦　十丙戌
十一月二十二日　木曜　友引　十二閉
十一月二十三日　金曜　新暦　十丙戌
十一月二十四日　土曜　先負　十二建
十一月二十五日　日曜　新暦　十丁亥
十一月二十六日　月曜　先負　十二建
十一月二十七日　火曜　新暦　十丁亥
十一月二十八日　水曜　新暦　十丙戌
十一月二十九日　木曜　友引　十二閉
十一月三十日　金曜　新暦　十丙戌
十二月一日　土曜　先負　十二建
十二月二日　日曜　新暦　十丁亥
十二月三日　月曜　先負　十二建
十二月四日　火曜　新暦　十丁亥
十二月五日　水曜　友引　十二閉
十二月六日　木曜　新暦　十丙戌
十二月七日　金曜　新暦　十丙戌
十二月八日　土曜　先負　十二建
十二月九日　日曜　新暦　十丁亥
十二月十日　月曜　先負　十二建
十二月十一日　火曜　新暦　十丁亥
十二月十二日　水曜　友引　十二閉
十二月十三日　木曜　新暦　十丙戌
十二月十四日　金曜　新暦　十丙戌
十二月十五日　土曜　先負　十二建
十二月十六日　日曜　新暦　十丁亥
十二月十七日　月曜　先負　十二建
十二月十八日　火曜　新暦　十丁亥
十二月十九日　水曜　友引　十二閉
十二月二十日　木曜　新暦　十丙戌
十二月二十一日　金曜　新暦　十丙戌
十二月二十二日　土曜　先負　十二建
十二月二十三日　日曜　新暦　十丁亥
十二月二十四日　月曜　先負　十二建
十二月二十五日　火曜　新暦　十丁亥
十二月二十六日　水曜　友引　十二閉
十二月二十七日　木曜　新暦　十丙戌
十二月二十八日　金曜　新暦　十丙戌
十二月二十九日　土曜　先負　十二建
十二月三十日　日曜　新暦　十丁亥
十二月三十一日　月曜　先負　十二建

## 潮聲硯靜抄帳

天野雨山選

地芝居の舞台明るく月さしぬ　欣々子

地芝居の間もなく雨につぶれけり

舞台きしみて心もとなや村芝居　香村子

地芝居の女形にどつとざはめけり

地芝居の化粧する灯に虫つどふ　花堂

村芝居折々人のどよめけり

眠むたがる子役などめて村芝居　枯　萍

舞台から呼び出しもやる村芝居

## 講談

### 山の怪秘

戸隱奇譚

丸山寬雄作

(36)

浪木眞嗇畫

大誓願の怪（十二）

戒音の首を抱きすくめるやうにして、頬の邊口に口をつけてゐた天靈、白刃を眺めるや吾に返つた如くパッと飛退つた

『ほゝゝ、何事です典膳樣お靜かになさいよ。埃が立ちます。まあ何ですね、刃物三昧とは餘りに荒々しいぢやありませんか』

月光に浮んだ白い天靈の顏、凄艷を極めてゐる

『拙者貴樣への報恩を、よもやこのやうに刃をもつて……』

尋常ではない。少くとも一流を學んだ小太刀の使ひ手といつた格好

これでは油斷は出來ないたかゞ比丘尼二人と思つて侮つてかゝつたが、いざ立ち合つて見ると、何時習得にした受身の構へ。さすが女、もう受身となつた。

篠山校長出席　平第一校長篠山雁氏は明十一日中村町に於て開かれる東部聯合教育會同代議員會出席するとゝ

警戒せよ▲三碧の人　幸運巡り來たれど訴しやう爭論を起さぬ樣せよ▲四綠の人　天恵を蒙り一家光明に浴するが如き盛運日▲五黃の人　大志を有するとも妄進せず好機を待つべし▲六白の人　英氣を發ひ時を逸せず努力すれば効果擧る▲七赤の人　家內平安の日外事には注意し口入爭論へよ▲八白の人　內憂外患並び起らんとする險惡の日となす▲九紫の人　靜思熟考して世の潮流に逆はぬ樣すべし

十一日

日出　六、一二　月出前一〇、二〇
日沒　四、三八　月沒後八、〇三
滿潮前八、三五　干潮前一、一五
滿潮後六、三〇　干潮後一、二五

十二日

日出　六、一三　月出前一一、〇九
日沒　四、三七　月沒後九、一四
滿潮前九、三五　干潮前二、〇〇
滿潮後七、一五　干潮後二、一〇

## 雪の夜

三

本津茂太郎

『あたし、かう思ふの』

『どう——？』

『あたし！淺ちやんと』

『え？』

『あたしと淺ちやんと、ふたりで心中したら……』

『馬鹿だなア、あんなこと云つてらア』

『嘘ぢやあないわ、ほんとよ、ほんとよ、あんたどう思ふ？』

『どうつて……』

『あたしが嫌ひ？』

『好き！——大好き……』

『ほんと？』

彌生はちら——と姉の方を見たが、姉は一生懸命に芝居を見てゐて、二人の話を知らないらしい

さうしてはねるまで二人で肩を觸れ合つたまゝ見てゐた、みんな黑い潮のやうに往來の方へ溢れ出た

淺男も美代子と彌生にはさまれて外へ出た

外は眞白であつた。宵のまゝの空から降り出した雪はまだ止みさうな氣色も見せず

姉をはさんで三人は三つの傘を並べながら歩いて行つたが、淺男と彌生は時々つたが、淺男と彌生は時々姉に氣付かれないやうに視線を合せては微笑んだ

淺男は堪らなく彌生が可愛いかつた

○……

○……

『學校がいやがしいんだから困つちまう。日曜に行きますよ』

K町の方へ三人は折れた

『それ、一念用意ちや』

天靈は事態急迫したと知つたか、かう命令して目配せした

『ねいッ』

片手なぐりに猿臂を伸ばして斬つてかゝる典膳

『さア……』

天靈を背後にかばつた一念、懷劍を拔いてすつくと立つ。その姿勢、その構へ、尋常ではない。少くとも一流を學んだ小太刀の使ひ手といつた格好

これでは油斷は出來ないたかゞ比丘尼二人と思つて侮つてかゝつたが、いざ立ち合つて見ると、何時習得にした受身の構へ。さすが女、もう受身となつた。

してゐるのかこの間ひ處胸をつけてゐた天靈、白刃を眺めるや吾に返つた如くパッと飛退つた

『ほゝゝ、何事です典膳樣お靜かになさいよ。埃が立ちます。まあ何ですね、刃物三昧とは餘りに荒々しいぢやありませんか』

月光に浮んだ白い天靈の顏、凄艷を極めてゐる

『拙者貴樣への報恩を、よもやこのやうに刃をもつて……』

しやうとは露更思はなかつた。これも血を吸ひ人をなぶる亂業の因果だ、潔く其躍り出した長刀を斜に擡き處へ直れ』

今度は岡庭典膳の方で牛巾廣の穗先は銀魚の如く前狂亂になつて立向ふ。眼は血走り、刀の柄を握る兩腕は細かくふるへてゐる。感動の最高潮。無理もない。例によつてその左手の甲にはり〳〵と雲形の黑痣！

『ふむ、さては正体を現したか、覺悟せい』

典膳、身を屈めて銳い突きを入れる。パッと横に體を開いた天靈、大上段の車斬り、典膳の眞向から長刀を振下してくる

今。典膳、邪魔になる長刀を、ガッチリ峰打くれて外へ流しやつたその隙に素早く刀の左手移し巧妙に極つて左側にゐた一念の額を拂つたから堪らない、腦天から血汐吹いてのけ反る。

典膳の策、一念と典膳が斃た。これも血を吸ひ人をなぶる亂業の因果だ、潔く其躍り出した長刀を斜に擡き處へ直れ』

今度は岡庭典膳の方で牛巾廣の穗先は銀魚の如く前狂亂になつて立向ふ。眼は血走り、刀の柄を握る兩腕は細かくふるへてゐる。感動の最高潮。無理もない。例によつてその左手の甲にはり〳〵と雲形の黑痣！

『ふむ、さては正体を現したか、覺悟せい』

典膳、身を屈めて銳い突きを入れる。パッと横に體を開いた天靈、大上段の車斬り、典膳の眞向から長刀を振下してくる

今。典膳、邪魔になる長刀を、ガッチリ峰打くれて外へ流しやつたその隙に素早く刀の左手移し巧妙に極つて左側にゐた一念の額を拂つたから堪らない、腦天から血汐吹いてのけ反る。

『えいッ』

と、一聲、雜ぎ立てゝ來た

憤怒をこめて大上段より左斜に斬つてかゝつた典膳の一太刀。天靈の首胴もろく飛ぶと見えたが、實は巢に相違して月光に流星の如く急因した刃は、竹丸波音の胴へ喰ひ込んだ。折も折竹丸と戒音は、最前からの劍戟沙汰に首をすくめて恐ろしさの餘り樹と左右から固くすがり合つてゐたところである。不幸にも典膳の袖を拂つた白刃は、二人を一時に斬り下げたのだ

それと見るや狂亂した如き岡庭典膳、松の根方をりすのやうに立廻つて追ふ。この瞬間、天靈叫はじと悟つたか、手にした長刀を典膳に投つけると同時、傍の古井戸に身をおどらして飛込んだ

## 磐城歌壇

### 新妻久滿夫選

田部君子

○突立ちて花の甘さを嗅ぐときの放心ありて秋はうれしき

○手馴たる鋏の今朝の切れ味はそぐそぐとして巾に斷ち入る

○シャボテンのとげのあたまをみてゐしがふとこみあげて來し笑ひあり

○理に勝ちしわれの心の冷たさを月にみせたる芙蓉の大輪

○どんぐりの榮養價値がのりてゐる獸々として米の飯食ふ（新聞）

小評　新しい感覺を新しい表現に試みた點を受け入れることが出來る作品である。但し調子の輕浮な無雜作なところはこの歌の特質でもあり、欠點ともなる。兎に角も磐城歌壇では從來踏襲の典型を却して新しさに突入したものと云へるが、古きを忘れてはならないことだと思ふ。自重を切望する。

## 社會の今

○

雞のふくれて來る日あたりに、菜の葉は霜に濡れて青みぬ

安部　滿代

山茶花や焚火のなりに霜解くる

月　草

## 廣告

自動車ノ御用ナラ何デモ御仰セ付願ヒマス。

驛前　昭和タクシー

電話　三三　四四　〇三番

一、充實セルタクシー部
一、高級大型團体遊覽車
豐間、江名、中之作方面
小名濱直通
一、乘合　靈客關伽井嶽
一、貨物一般運送

株式會社　三共商事

資本金　平町大町電三六〇

開店して　まだ日が淺い……ハヤシ

品質と新型の自慢品をドコよりもお安く

勉強致します……。

何卒御高覽の程を…

冬物…澤山入荷致しました

小中學生用外套、男女小學生オーバ
女學生婦人用オーバ、男女小學生通學服、婦人用文化コート、同高級コート、可愛らしいベビー服

生地裁斷　直しもの無料サービス
注文裁縫　平町三丁目角（マルトモ書店向と）

婦人子供　ハヤシ洋服店

磐城鐵工機械同業組合

磐城家庭婦人會

皆樣方の御手不足を補ふ家庭婦人會が出來ましたどうぞ御試用下さいませ。

親切。迅速。

（入會金ト維持費ハ申受マセン）

◎會員募集

平町字田町五（元郵便局ウラ）

駒井ヒデ

電話三九九番（呼出）

魂の入つた

機關銃印の自轉車

日章旗の如く輝く特長

一、全部鋼鐵、特種壓搾、製

二、自働注油、防水防塵、装置

三、ヘット及びホークのスプリング作動

斯界に比なき數多の特長を有するが故に耐久力は普通車の五倍以上。而かも惡路でも振動を感せず。その輕快さは本車のみ有する特長で製作者の苦心の存する所であります

機關銃印の自轉車（宣傳中）　五十八圓

戰車の如く頑強　だと御評判を賜りました

フタバ式超重量用リヤカー（宣傳中）廿五圓

永年修繕費のかゝらぬ

兩車の御利用を切に御願ひ申上げます

フタバ商會

平。新川町。月見橋際

磐城共濟病院（福島縣平町）（電話六四一番）

內科　院長　醫學博士　石山謙郎
小兒科　部長　岩手醫學士　平賀一忠
產婦人科　副院長　醫學博士　五十嵐雄二
外科　部長　醫學士　坂本眞一郎
耳鼻咽喉科　部長　醫學士　前澤正
皮膚泌尿器病科　部長　醫學士　石山謙郎
花柳病科　醫學博士　石山謙彪
X光線科　技手　高後利雄
物療科　技手　石山謙彪
衛生試驗所　醫學博士　高後利雄
藥局　藥劑師　吉本孝平
事務長　鈴木寶雄

◎每日午前八時ヨリ
◎夜間診療開始）每夜午後十時迄）
◎病室完備　入院隨意

自轉車ノ月賦販賣

御通知次第御伺ヒ致シマス。

エビスヤ自轉車店

平町南町電六六四

耳鼻咽喉科專門

平町南町一六番地

大和田醫院

電一七〇番

（入院隨意　病室完備）

# 全町議と有志十名で
# 市制施行調査委員會 結成
## 近く町會で正式決定か

市制實施促進の爲諸種の施設を講じてゐる平町では擾に町是調査會により各種町資源開拓の調査を進めて來たが其の實績更に捗々しくなく此の分では市制實施も當分望み薄な處から青沼町長は過般來これが百年の大計樹立に腐心頭を惱してゐたが愈々最近これ亦平町同樣に市制實現に邁進してゐる栃木縣栃木町の市制施行調査委員會（委員五十名）の事業を參酌し從來の調査會を更に範圍を廣めて全町議に選擧有權者中より選拔した十名を加へ合計四十名を以て財政、産業、敎育、土木、社會種、警備衛生、運輸外一部計八部門に亘る委員會を組織し平市建設に必要なる事項の實行に移るべく來る二十七日頃の町會に於て正式これが名稱及人選など決定の上速かに實行に移すべく町會は今後永續的に行ふ模樣である

。。。。。
菊田聯合競技　植田方部聯合青年團の陸上競技會は來る二十三日午前八時から植田小學校で擧行

谷田滿子　岡部スミ矢吹トキ子　菊地キヨ松崎ハツエ　遠藤喜江

# 平局の電話革命
## 愈々明日から增線使用
### 取引簡便化重大

因みに明十一日午前九時半より磐中校庭に於て一同相會し練習を行ふと、尚今大會は今後永續的に行ふ模樣である

。。。。。
通話區域擴張　平局では明十一日より左の如く通話區域擴張する
茨城縣阿波山—二五　小川　五五　一二八
第一回野球大會は來る十八日午前八時から磐炭金坂グラウンドで擧行、參加十チーム

。。。。。
投槍　投書歡迎
暗渠市街化を熱望
◇平町の都計　上初期の施設として平館通り及新田町裏邊の溝通りを暗渠にする計劃ある事を貴紙の報道せられるであらうが手近に住む吾人は例年火災季に於てどんなに取り越苦勞をするが如き暗渠市街化が實現を第二義第三義とし、火防上の見地から一日も早く暗渠化の實現されん事を切望する
◇然るに之が　傳へらるゝあるが、吾々はそうした事に依つて知つた自分は、本ボンプを据ゑられるに增しの體裁より良くなるのは素より喜ばしい事ではあるが、吾々はそうした事が竣功檢査を行ふ當日午前十一時半ボンプの試運轉を行ふ事になつたと傳へらるゝ事は無いからである
◇ボンプが入　らぬ地域に住む吾人は例年火災季に於てどんなに取り越苦勞をするが如き暗渠市街化が實現を第二義第三義とし、火防上の見地から一日も早く暗渠化の實現されん事を切望する
◇然るに之が　傳へらるゝあるが、吾々はそうした事に依つて知つた自分は、本ボンプを据ゑられるに增しの體裁より良くなるのは素より喜ばしい事ではあるが、吾々はそうした事が竣功檢査を行ふ當日午前十一時半ボンプの試運轉を行ふ事になつたと傳へらるゝ事は無いからである
◇ボンプが入　らぬ地域に住む吾人は例年火災季に於てどんなに取り越苦勞をするが如き暗渠市街化が實現を第二義第三義とし、火防上の見地から一日も早く暗渠化の實現されん事を切望する

# 出荷八百俵
## 明後日の白米共販

明後日十二日の定期石城聯販白米共販は

| | 五等 | 等外 |
|---|---|---|
| 平 | 一九 | 二五四 |
| 植田 | 一五四 | 二一六 |
| 小川 | 五五 | 一二八 |

合計八百二十六俵で行はれるが之は何れも貯藏殺の解除による出荷で且つ現在中央市場に於ては强氣を示して居るに反し當地方の米價は弱氣を見せて居る等種々の點から注目されて居る

# 出稼女調査
平署でも進行中

若い女性の出稼ぎ人に就き平署でも目下全管內に亘り今年一月以降去月迄藝妓、酌婦、女給、娼妓、子守、女工など詳細に調査中で來る十日頃完了の見込みである

# 平町入營者所屬部隊
## 其後の分今十日發表

平町の今年度入營者部隊は其後の分今十日左の如く決定したが近く第一補充兵役者と共に町役場に於て通牒交附式を擧行する筈

明年一月二十日入營—歩二九歩兵（右鍛冶町）神谷梧一　六月十日—朝鮮羅南歩七三（四丁目）佐藤甲二郎、同（月見町）白土勝白、同（平町出身內郷村）

渡邊賢治　一月二十日—高田獨立山砲第一聯隊山砲兵（田町）篠原善治　同—中野電信第一聯隊電信兵（禰宜町）渡邊虎雄　同—靜岡縣飛行兵第七聯隊入營飛行兵（平町出身好間村）十件清野芳男、同（材木町）猪狩久吉　同—仙臺輜重兵第二大隊同輜務兵（十五出丁目）久保田虎孝

# 酒ぬきで送別會
## 平窪が率先して
### 入營兵に更生の餞

平窪村では來る十六日午後練情した、工費は大体六、三時から小學校奉安庫前で今年度入營者十三名の奉告式了つて時節柄酒無しの簡素な送別會を開く

# 紅葉映ゆる御幸山麓
## 健棒好打の技を競ふ
### 明日曜湯本町營グラウンドで
### 全大倉對入山の野球試合

既報—体育協會石城支部主催本部對茨城縣多賀郡小學校會員陸上競技會は來る二十五日（日曜）磐中グラウンドに擧行する事に決定し來る十五日メムバー交換を行ふが被敷五十五、敎員數七百餘名中、優勝旗（若はカップ）を目指し磐城より選ばれた精銳は左記縣下一流どころで大會後總親會を催す筈

△百米　木田谷平　大沼藤明　小林正毅
△二百米　草野仁　渡邊彌平　小林清海
△四百米　鈴木武雄　佐藤定翁　高木勝男
△四百繼走　田子泰作　木田谷平　小林正毅　草野仁
△八百繼走　渡邊彌平　佐藤吉雄　大沼藤明　鈴木武雄
△走巾跳　丹野富士男　佐藤吉男　渡邊彌平
△走高跳　丹野富士男　鈴木武雄　大塚操
△三段跳　丹野富士男　佐藤吉男　佐藤兼介
△砲丸投　西牧清富　渡邊義衛　佐藤隆丸
△圓盤投　西牧清富　田子泰作　佐藤兼介
△槍投　古川周二郎　廣原盛　西牧清富
△男子籠球　野原忠晃　野川正夫　木田芳重　高畑正次郎　高杉清登　佐藤勝彌　石田伸六郎　大竹覺雄　上遠野萬　中山正夫　松本正治　鈴木愛三
△女子籠球　比佐モト　橘

# 國民精神作興大講演會
## 平、湯本、四倉で開催

國民精神作興の焦點である軍縮準備問題を說く爲め地方商工會議所主催の下に東京朝日新聞社會部長大倉對入山フアンをして非常に期待せしめて居る、兩軍のメムバー交換を行ふ事に決定し來る十五日（日曜）磐中グラウンドに擧行する事に決定し來る十五日メムバー交換を行ふが被敷五十五、敎員數七百餘名中、優勝旗（若はカップ）を目指し磐城より選ばれた精銳は左記縣下一流どころで大會後總親會を催す筈

△百米　木田谷平　大沼藤明　小林正毅
△二百米　草野仁　渡邊彌平　小林清海
△四百米　鈴木武雄　佐藤定翁　高木勝男
△四百繼走　田子泰作　木田谷平　小林正毅　草野仁
△八百繼走　渡邊彌平　佐藤吉雄　大沼藤明　鈴木武雄
△走巾跳　丹野富士男　佐藤吉男　渡邊彌平
△走高跳　丹野富士男　鈴木武雄　大塚操
△三段跳　丹野富士男　佐藤吉男　佐藤兼介
△砲丸投　西牧清富　渡邊義衛　佐藤隆丸
△圓盤投　西牧清富　田子泰作　佐藤兼介
△槍投　古川周二郎　廣原盛　西牧清富
△男子籠球　野原忠晃　野川正夫　木田芳重　高畑正次郎　高杉清登　佐藤勝彌　石田伸六郎　大竹覺雄　上遠野萬　中山正夫　松本正治　鈴木愛三
△女子籠球　比佐モト　橘

作興週間に際し東京朝日新聞社會部長大倉對入山フアンをして非常に期待せしめて居る、兩軍のメムバー交換を行ふ事に決定し來る十五日（日曜）磐中グラウンドに擧行する事に決定し來る十五日メムバー交換を行ふが被敷五十五、敎員數七百餘名中、優勝旗（若はカップ）を目指し磐城より選ばれた精銳は左記縣下一流どころで大會後總親會を催す筈

△百米　木田谷平　大沼藤明　小林正毅
△二百米　草野仁　渡邊彌平　小林清海
△四百米　鈴木武雄　佐藤定翁　高木勝男
△四百繼走　田子泰作　木田谷平　小林正毅　草野仁
△八百繼走　渡邊彌平　佐藤吉雄　大沼藤明　鈴木武雄
△走巾跳　丹野富士男　佐藤吉男　渡邊彌平
△走高跳　丹野富士男　鈴木武雄　大塚操
△三段跳　丹野富士男　佐藤吉男　佐藤兼介
△砲丸投　西牧清富　渡邊義衛　佐藤隆丸
△圓盤投　西牧清富　田子泰作　佐藤兼介
△槍投　古川周二郎　廣原盛　西牧清富
△男子籠球　野原忠晃　野川正夫　木田芳重　高畑正次郎　高杉清登　佐藤勝彌　石田伸六郎　大竹覺雄　上遠野萬　中山正夫　松本正治　鈴木愛三
△女子籠球　比佐モト　橘

# 晩秋の野に躍る
## 郡下青訓生千餘名
### 聯合演習漸く近づく

郡青訓聯合演習は既報の如く來る十八、九の兩日四倉の他に若松聯隊より若干の入山軍は過般の同部內に於ける四戰一勝後の大浦、草野、神谷、四ヶ村應援を受け行はれるが、第一日は先づ午前九時統監部及び兩軍大隊長は統監部より地方稀に來る强チームとして期待し得る生千餘名を動員して行はれ之に對する四戰一勝後の入山軍は過般の同部內に於ける紛紜も既に解決し亘り郡下四十九ヶ訓練所井川、比佐庄司、遠藤（磐中）第一中隊は四倉、同第二中隊は華々しく攻防戰を開始同八駒場、麻原（平商）各氏を審隊は大浦、南軍第一中隊は草野、同第二中隊は神谷の各部署に就き同五時半火線習を引いて北軍南軍個々に第二、第二中隊對抗の夜間戰鬪を展開、同七時休戰喇叭分列と共に終了、同夜は各部署に於て開き各主事の外に敎練主任校等集合右演習に關し協議する筈

# 内氣な女房
## 些事を苦に家出
### 夫から捜索願

東京市江戸川區逆井一ノ二田中村郷內高橋文藏方倉庫內五大內儀衛（二六）酉線の妻安に忍入り衣類二十點（價格滑圖檢事關與の公判に於て求刑通り懲役一年を卽決言渡された

# 大崎入山　重役視察
入山炭鑛は昨九日來山坑內外の視察を遂げ今十日歸京した

# 疫痢
平町田町藝妓置屋町大字櫨現堂宇塚越一雜貨商佐藤精好（五）は去る二月木頃苅野村川原官有地及び鈴木助次郎所有山林から櫟

# 精神作興詔書奉讀
平町各學校では今日の國民精神作興に關する詔書御下賜記念日に當り恭しく聽衆に多大な感動を與へた熱辯の人で今回も國民精神作興週間に際し東京朝日新聞社會部長大倉對入山フアンをして非常に期待せしめて居る、兩軍のメムバー交換を行ふ事に決定し來る十五日（日曜）磐中グラウンドに擧行する事に決定し來る十五日メムバー交換を行ふが被敷五十五、敎員數七百餘名中、優勝旗（若はカップ）を目指し磐城より選ばれた精銳は左記縣下一流どころで大會後總親會を催す筈

△百米　木田谷平　大沼藤明　小林正毅
△二百米　草野仁　渡邊彌平　小林清海
△四百米　鈴木武雄　佐藤定翁　高木勝男
△四百繼走　田子泰作　木田谷平　小林正毅　草野仁
△八百繼走　渡邊彌平　佐藤吉雄　大沼藤明　鈴木武雄
△走巾跳　丹野富士男　佐藤吉男　渡邊彌平
△走高跳　丹野富士男　鈴木武雄　大塚操
△三段跳　丹野富士男　佐藤吉男　佐藤兼介
△砲丸投　西牧清富　渡邊義衛　佐藤隆丸
△圓盤投　西牧清富　田子泰作　佐藤兼介
△槍投　古川周二郎　廣原盛　西牧清富
△男子籠球　野原忠晃　野川正夫　木田芳重　高畑正次郎　高杉清登　佐藤勝彌　石田伸六郎　大竹覺雄　上遠野萬　中山正夫　松本正治　鈴木愛三
△女子籠球　比佐モト　橘

# 退治　惡米商
地から疾風迅雷的に米穀商の檢査を斷行

# 惡桂庵も排除
同時に時節柄可憐な農村子女に信號所停車も明十一日を以て最後とするので相當な人出を豫想されて居る尙東京原忠作方水車小屋から糯米數俵を盜取、その足で同部事件は今十日午前十時より一斗を盜取、その足で同部一部の惡桂庵を撲滅すべく先づ管內二十六名の免許方面からの往復二割引は二十日迄である

# 靜岡から潛入の賊
## 平區で昨日懲役一年卽決

んとして逃走、六月上旬頃下川地內泉—植田線縣道に外視して當り度い」と少かゝる八帆入橋は腐朽甚しからず自重振りを見せて居る

斯くして物凄い打擊戰が展開されるであらうが勝敗の分岐は一にかゝつて力により解決したので上達入山投手上面の肩にある村泉村長は今十日平土木監と言つても過言ではある齊所にこれが改修促進方を繼續に當る岡家雇人が夫に激怒せられ警官に逮捕され渡された

# 大崎入山　重役視察
大崎重役は昨九日來山坑內外の視察を遂げ今十日歸京した

# 聽け憂國の大熱辯を

內務省囑託就勞統制員　木村智丈氏
『非常時日本とは何ぞや』
海軍大佐　橋本才輔氏
『軍縮會議と日本精神』
非常時打開　講演會
期日　湯本町湯本座十二日夜六時
平町聚樂館十三日同
四倉町　十四日同

活きのよい味のよい　最優等の
日本一　日本水産株式會社扱
ヒノマル　凍魚賣出し
鯛　各種　海老　各種　白魚　各種　刺身魚各種　其ノ他品々
平製氷海産部
福島縣平町電話三六番
平町代理店　伊藤魚問屋
電話五二八番
融解簡易にして、直ちに御用に合ひます。
壹個にても迅速に配達致します。

主催　東京朝日新聞　平局信號所